

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会
2. 国土交通記者会
3. 国土交通省建設専門紙記者会
4. 北海道庁道政記者クラブ
5. 札幌市政記者クラブ
6. 北海道開発記者クラブ
7. (株)建設行政新聞社

日時：令和7年7月1日（14:00）



国立研究開発法人土木研究所
令和7年7月1日

最先端の調査技術で河川の環境を可視化！ ～環境DNA調査技術の河川管理の現場への展開～

環境DNA調査技術とは、河川や湖沼の水に含まれるDNAを分析することで、生息する生物の情報を得ることのできる最先端の技術です。

この新しい技術を国土交通省の実施する河川水辺の国勢調査を始めとする、河川の環境を調査する場面に展開するため、共同研究を通じて調査技術の標準化を進めてきました。さらにこの共同研究では、環境DNAの持つポテンシャルを最大限引き出せるよう多角的な検討を行うことで、様々な生物群の情報を流域レベルで示し、河川管理の現場へ実装する道筋を示すことができました。今後これらの知見をもとにした環境DNA調査技術の現場への実装が進んでいくことで、全国の河川で環境情報の高度化が図られることが期待されます。【環境DNAを活用した環境情報の高度化に関する共同研究報告書】

ホームページに上記を含む「土木研究資料」「共同研究報告書」を掲載しました

1. 掲載資料

○土木研究所資料 * 研究所において実施した調査、試験及び研究の成果又は調査、試験及び研究を進めていく上で必要な資料をまとめたものに係わる研究の成果をまとめたもの。

資料NO	タイトル	著者
4458	近年に発生した崩壊性地すべり事例集	土砂管理研究グループ 地すべりチーム

○共同研究報告書 * 共同研究に係わる研究の成果をまとめたもの。

資料NO	タイトル	著者
606	ランブルストリップスの応用技術に関する研究	寒地道路研究グループ 寒地交通チーム 他
609	環境DNAを活用した環境情報の高度化に関する共同研究報告書	流域水環境研究グループ 流域生態チーム 他

2. 掲載先 以下のウェブページから閲覧できます。

○土木研究所資料 URL : https://thesis.pwri.go.jp/public_kanko/100/2025/
○共同研究報告書 URL : https://thesis.pwri.go.jp/public_kanko/110/2025/

【問合せ先】	国立研究開発法人土木研究所	企画部業務課	課長	かなざわ	てつや
				金澤	哲也
				かたおか	たかゆき
				片岡	貴之
		電話番号		0 2 9 - 8 7 9 - 6 7 5 4	